

令和2年度

文化財保存学保存修復

修士課程 II期 入試

実技試験

石膏デッサン

<セント・ジョセフ>

試験時間

5 時間

10 : 00 ~ 12 : 00

13 : 00 ~ 16 : 00

令和2年度 第2期 選抜試験
文化財保存学専攻
筆答試験（1）小論文
問題・解答用紙

志望専攻		受験番号	
氏 名			

問題:文化財を保存、修復する必要性について1200字以内で述べなさい。

[illegible]

志望専攻		受験番号		氏 名	
------	--	------	--	-----	--

〔 掛軸の特性、墨の表現、^{ろくしょう}緑青、補彩、国宝の障壁画 〕

(1)

[illegible]

(2)

[illegible]

(3)

[illegible]

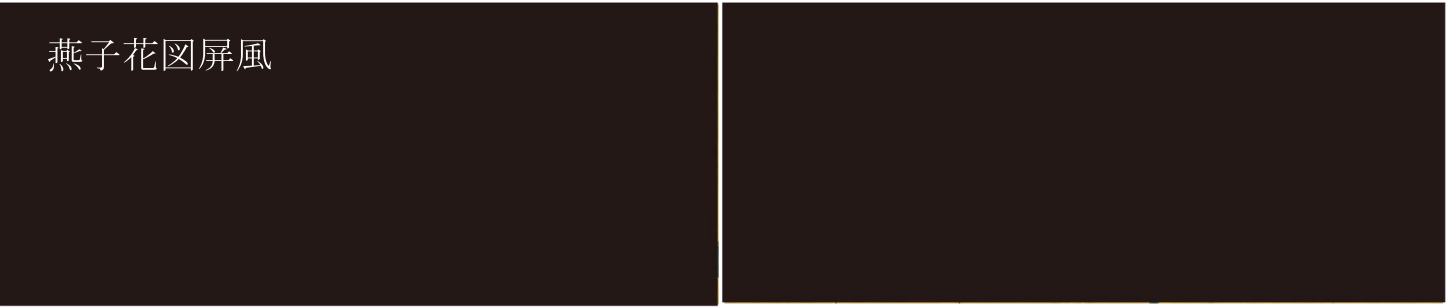
【 a. 飛鳥・奈良時代 b. 平安時代 c. 鎌倉時代 d. 室町時代 e. 桃山時代 f. 江戸時代 g. 近代 】

作品番号	時代記号 (a～g)	作品名
1		
2		
3		
4		

作品番号	時代記号 (a～g)	作品名
5		
6		
7		
8		

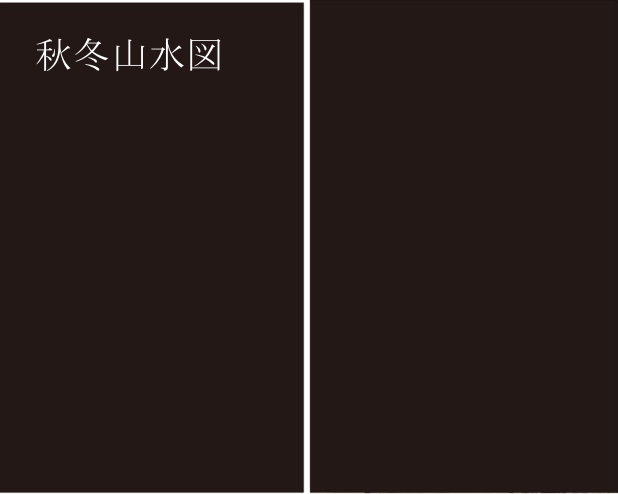
志望専攻		受験番号		氏 名	
------	--	------	--	-----	--

1



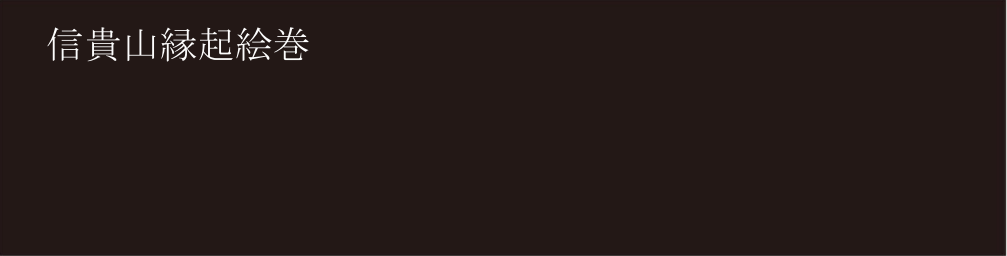
燕子花図屏風

2



秋冬山水図

3



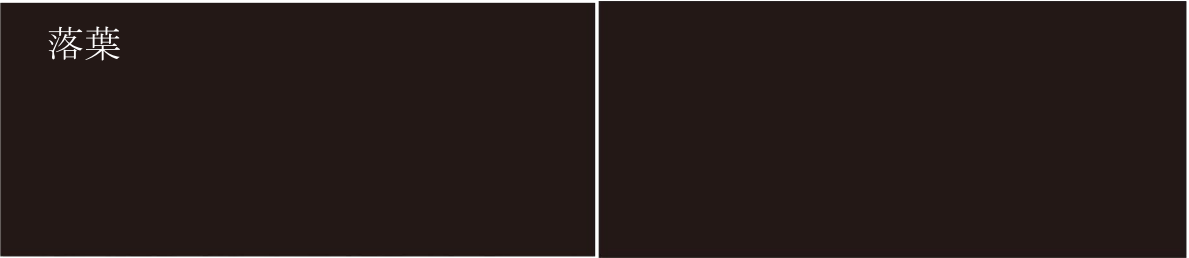
信貴山縁起絵巻

4



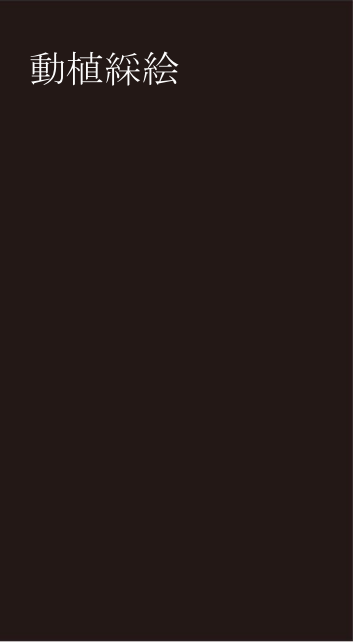
高松塚
古墳壁画

5



落葉

7



動植綵絵

8



那智滝図

6



松林図

筆答試験 2 (専門)

令和 2 年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題
(専門 保存修復油画 筆答試験)

志望専攻

受験番号

氏 名

問題 1 下記の a～e は、油彩画技法についてのキーワードである。これらすべてのキーワードを用いて、16 世紀から 19 世紀にかけての油彩画技法の歴史的変遷を 600 字以内で述べよ。

- a. 白亜地
- b. キャンバス
- c. インプリマトゥーラ
- d. 有色地塗り
- e. 厚塗り

問題 2 下記の a～c は油彩画の損傷用語である。そのうちのひとつを選択し、その損傷原因について、300 字以内で述べよ。

- a. 絵具の亀裂
- b. ワニスの黄変
- c. 絵具の浮き上がり

問題 3 下記の a～c は、油彩画の修復前に実施する光学調査である。そのうちのひとつを選択し、その方法と原理を 300 字以内で述べよ。

- a. 側光線（斜光線）写真撮影
- b. 赤外線反射写真撮影
- c. X 線透過写真撮影

問題 4 油彩画の表面を保護するためのダンマル樹脂ワニスは、テレピンにダンマル樹脂を溶かして作る。50%（重量比）のダンマル樹脂ワニスを希釈し、15%のダンマル樹脂ワニス 100 g を作るとき、希釈前の 50%のワニスの量、希釈のためのテレピンの量をそれぞれ求めよ。

筆答試験2(専門) 解答用紙1

令和2年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題

專門：保存修復油畫

志望専攻		受験番号		氏名	
------	--	------	--	----	--

問題 1.

[illegible]

問題 2.

選択した項目のアルファベット

[illegible]

筆答試験2(専門) 解答用紙2

令和2年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題

專門：保存修復油畫

志望選考		受験番号		氏名	
------	--	------	--	----	--

問題 3.

選択した項目のアルファベット

[illegible]

問題 4.

希釈前の50%のワニスの量	g
---------------	---

希釈のためのテレピンの量	g
--------------	---

令和2年度 文化財保存学専攻修士課程 入学試験問題（筆答試験2）専門

保存修復彫刻 問題用紙

受験番号	氏名

【問1】

下記の仏像年表を、**語句欄Ⅰ** から最も適切な語句を選び完成させてください。なお、選択した語句は、何度使っても構いません。

時代	所蔵先・名称	技法
飛鳥時代		
奈良時代		
平安時代前期		
平安時代後期		
鎌倉時代		

語句欄Ⅰ

願成就院毘沙門天立像／聖林寺十一面観音菩薩立像／円成寺大日如来坐像
法華寺十一面観音菩薩立像／法隆寺金堂四天王立像
一木造／寄木造／割矧造／木心乾漆造／脱活乾漆造／塑造／金銅造

【問2】

解答用紙の記入例にならい A 欄の語句について読み仮名を記入し、簡潔に説明してください。

A 欄	玉 眼	玄 能	割 矧 ぎ	榼	宝 髻
-----	-----	-----	-------	---	-----

【問3】

次の仏像の制作技法 a.b.c.について、解答欄に収まる範囲で簡潔に説明してください。

a.寄木造

b.脱活乾漆造

c.塑造

【問4】

選択欄 B にある ア～オ の像を古いものから、制作年代順に並べなさい。

【問 5】

選択欄 B にあるア～オの中から好きな像を 2 つ選び、名称・制作年代や、造形・構造技法の特徴などを語句欄Ⅱから選び、それぞれ解答欄に収まる範囲で説明しなさい。

なお、選択した語句は何度使っても構いません。

選択欄 B	
ア	興福寺八部衆のうち迦楼羅立像
イ	東大寺俊乘堂阿弥陀如来立像
ウ	法隆寺観音菩薩立像（救世観音）
エ	平等院阿弥陀如来坐像
オ	法隆寺塔本塑像のうち文殊菩薩坐像

語句欄Ⅱ

名称) 唐招提寺盧舎那仏坐像／法隆寺観音菩薩立像（救世観音）／法隆寺文殊菩薩坐像

興福寺八部衆のうち迦楼羅立像／平等院阿弥陀如来坐像／東大寺阿弥陀如来立像

時代) 飛鳥時代／奈良時代／平安時代前期／平安時代後期／鎌倉時代／室町時代

材料と構造技法) 塑造／金銅造／脱活乾漆造／木心乾漆造／一木造／寄木造／割矧造

令和2年度 文化財保存学専攻修士課程 入学試験問題（筆答試験2）専門
保存修復彫刻 解答用紙

受験番号	氏名

【問1】

時代	所蔵先・名称	技法
飛鳥時代		
奈良時代		
平安時代前期		
平安時代後期		
鎌倉時代		

【問2】

語句	読み	説明
例：三道	さんどう	仏像の首にあらわされる、しわの表現。
玉眼		
玄能		
割矧ぎ		
榧		
宝髻		

【問3】

a. 寄木造

〈技法の説明〉

b. 脱活乾漆造

〈技法の説明〉

c. 塑造

〈技法の説明〉

【問4】

〈記号で答えなさい〉

→

→

→

→

【問5】

(仏像の名称：

※記号でなく名称で記すこと)

(仏像の名称：

※記号でなく名称で記すこと)

令和2年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題
筆答試験（2）専門 保存修復工芸 問題用紙

受験 番号		志望 分野	
名前			

【問1】 A枠内にある①～⑨の中から二つ選び、《 》内の作品名の読み仮名をひらがなで記入し、300字程度で作品について解説しなさい。
また、その作品に当てはまる写真をB枠内ア～ケの中から選び、記号で答えなさい。

A

①《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》鎌倉時代

②《宝相華迦陵頻伽蒔絵冊子箱》平安時代後期

③《金彩錆絵染付薄図蓋物》江戸時代

④《鼠志野茶碗 銘 峯紅葉》桃山時代

⑤《時雨螺鈿鞍》鎌倉時代

⑥《一重口水指 銘 柴庵》桃山時代

⑦《色絵花鳥文八角共蓋壺》江戸時代

⑧《色絵鳳凰文共蓋壺》江戸時代

⑨《高台寺霊屋内陣》桃山時代

B

①《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》鎌倉時代

ア

⑦《色絵花鳥文八角共蓋壺》
江戸時代

イ

⑥《一重口水指 銘 柴庵》桃山時代

ウ

⑨《高台寺霊屋内陣》桃山時代

エ

④《鼠志野茶碗 銘 峯紅葉》
桃山時代

オ

③《金彩錆絵染付薄図蓋物》江戸時代

カ

⑧《色絵鳳凰文共蓋壺》
江戸時代

キ

⑤《時雨螺鈿鞍》鎌倉時代

ク

②《宝相華迦陵頻伽蒔絵冊子箱》平安時代後期

ケ

【問2】 工芸に関する用語について下記枠内にある番号1～10の中から三つ選び、それぞれの用語の読み仮名をひらがなで記入し、解説しなさい。

1 片身替り	2 須恵器	3 紅毛漆器	4 楽焼	5 小川破笠
6 鞘塗り	7 縄文土器	8 信楽焼	9 螺鈿	10 備前焼

【問3】 自分の専門とする分野において保存修復や技法研究を行うに当たって、何を重要視していきたいと思うか600字以内で述べなさい。